

## 調査結果の修正について

職員の処分を検討するにあたり、職員へのヒアリングや事業者などに再確認したところ、以下の事実が判明したので、調査結果を修正する。

- ・「d 備品等の差替えて現物確認できないもの」に分類していたプリンタ 1 台 (36,750 円) について、保守点検料 (「b 消耗品等の差替え」) であることが判明した。
- ・「e 備品等の差替えて公金の支出として不適切なもの」に分類していた職員用トイレの温水便座切替え工事費の金額が一部異なっていた (390,000 円⇒298,200 円)。

### 集計結果

分 類		金 額	支出命令件数	所属数
a	会計年度の異なる支出	69,551,146 円	761 件	125 所属
b	消耗品等の差替え	(66,881,451 円) 66,918,201 円	(1,462 件) 1,463 件	104 所属
c	備品等の差替えて 現物確認できたもの	69,941,379 円	542 件	78 所属
小 計		(206,373,976 円) 206,410,726 円	(2,765 件) 2,766 件	168 所属
d	備品等の差替えて 現物確認できないもの	(1,065,812 円) 1,029,062 円	(11 件) 10 件	(5 所属) 4 所属
e	備品等の差替えて公金の 支出として不適切なもの	(531,003 円) 439,203 円	7 件	4 所属
f	消耗品等の差替えて公金の 支出として不適切なもの	523,643 円	8 件	3 所属
g	私的流用の疑いがあるもの	741,615 円	2 件	1 所属
小 計		(2,862,073 円) 2,733,523 円	(28 件) 27 件	9 所属
合 計		(209,236,049 円) 209,144,249 円	2,793 件	168 所属

(注) 1. 上段 ( ) 内の数値は、平成 22 年 9 月 10 日付け調査結果報告での数値

2. 小計欄及び合計欄の所属数は延べ数ではなく重複を除いた実所属数

### (参考)

上記 d～g 分類は「不適正な経理処理であり、職員から返還を求めるもの」としており、既に全額 (2,733,523 円) を利息相当額 147,056 円 (調査対象期間の市債の表面利率の平均である年利 1.48% で計算) も含めて返還を受けている。